

2026/3期 通期決算説明資料

The OBS Way

～ Creating the future with new value ～

2026年5月14日

株式会社オービーシステム

東証スタンダード市場:5576

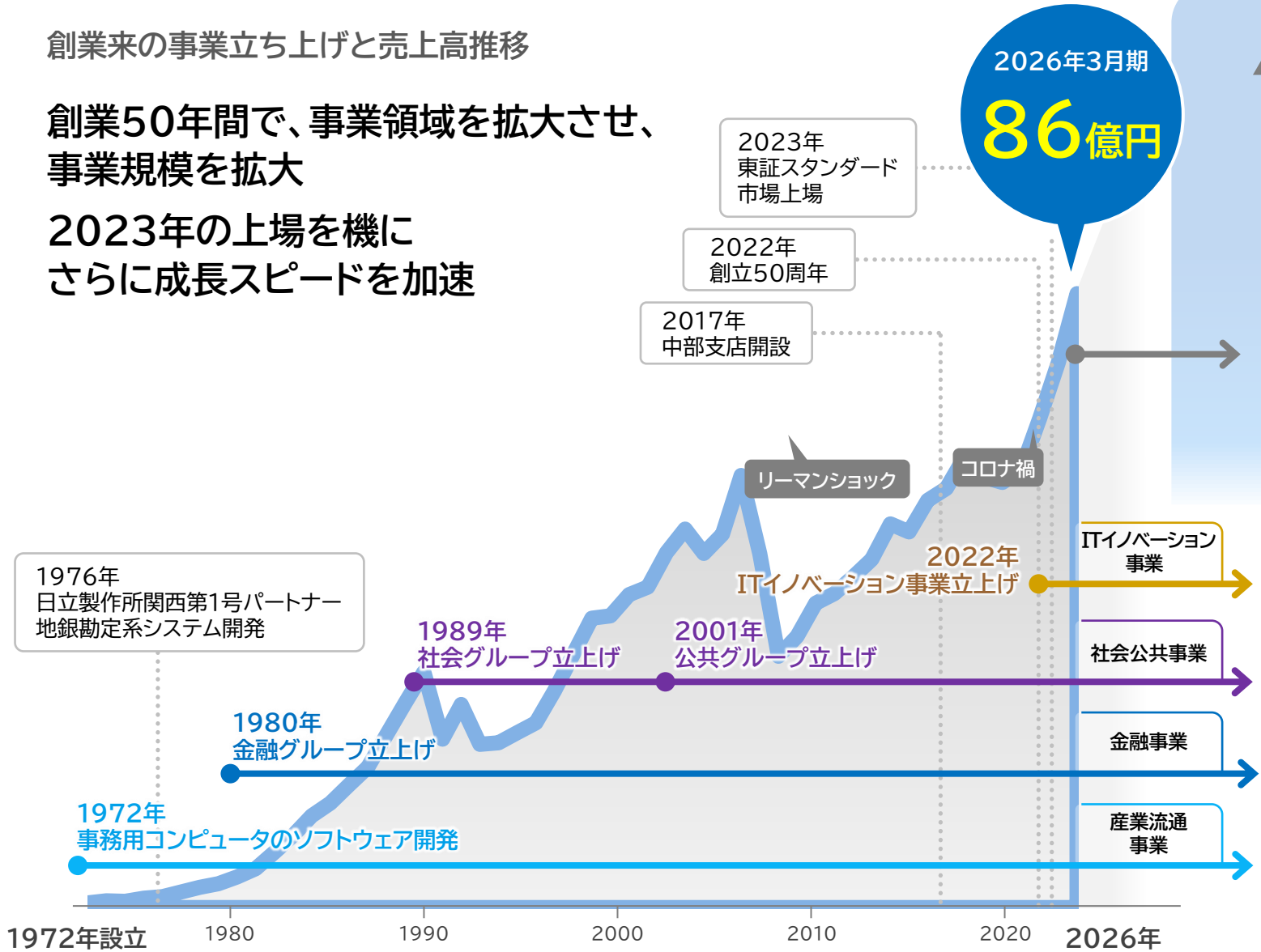
- 1 | 会社概要
 - 2 | 2026/3期 決算概要
 - 3 | 2027/3期 計画
 - 4 | 中期経営計画(連結) 進捗状況
The OBS Way
~ Creating the future with new value ~
- | APPENDIX

1. 会社概要(当社の歩みと特徴)

創業来の事業立ち上げと売上高推移

創業50年間で、事業領域を拡大させ、
事業規模を拡大

2023年の上場を機に
さらに成長スピードを加速



2026年3月期
過去最高売上高を連続更新

2025年5月1日
株式会社グリーンキャットを子会社化
2024年4月1日
株式会社ヒューマン&テクノロジーを子会社化


2023年6月の
東証スタンダード市場上場を機に、
事業拡大を加速

現在は
産業流通系、金融系に加え、
社会公共領域、ITイノベーション領域に展開

1976年
日立製作所の関西進出時に
ビジネスパートナーとして取引を開始
地銀の勘定系システム開発参加以降
同社グループとの取引関係を拡大

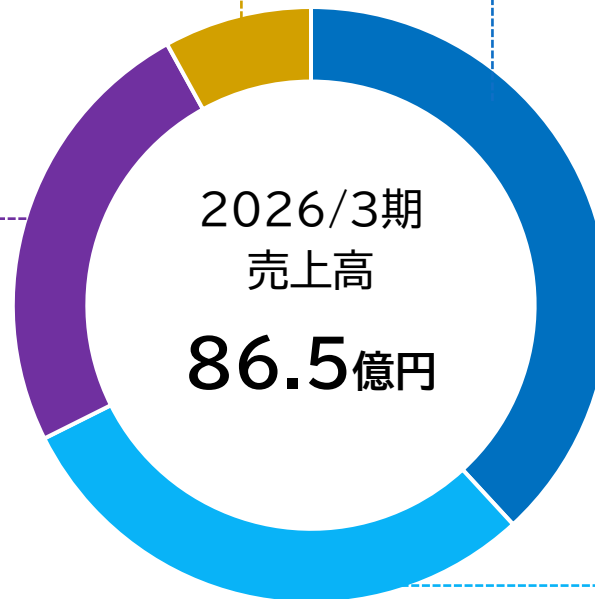
1972年
オービック向けソフトウェア開発会社として設立

- システムインテグレーションサービスの提供を主たる事業とする単一セグメント
- 事業戦略上、「金融」、「産業流通」、「社会公共」、「ITイノベーション」の4つのサービスラインに区分

 **ITイノベーション事業 7.8%**
(2022年4月より既存事業から切出し独立)

- オンプレミス / クラウドシステムのインフラ構築
- 業務支援アプリケーションパッケージ設定
- プロジェクトマネジメント・サービス事業
- 金融事業に関連する部分が大宗を占める

事業領域別売上内訳



金融事業 40.2%



- 銀行の基幹系三大業務(預金、貸付、為替)システム、元帳移行(バージョンアップ)
- 生損保業務システム、ノンバンク請求管理・審査等業務システム
- 証券保管振替システム、取引所清算業務システム、等

 **社会公共事業 23.0%**

- 電力ICT託送システム
- 道路、河川、ダム等の監視制御システム
- 電力系統制御システム
- 鉄道電力管理システム
- 官公庁 / 自治体システム、教学システム、等

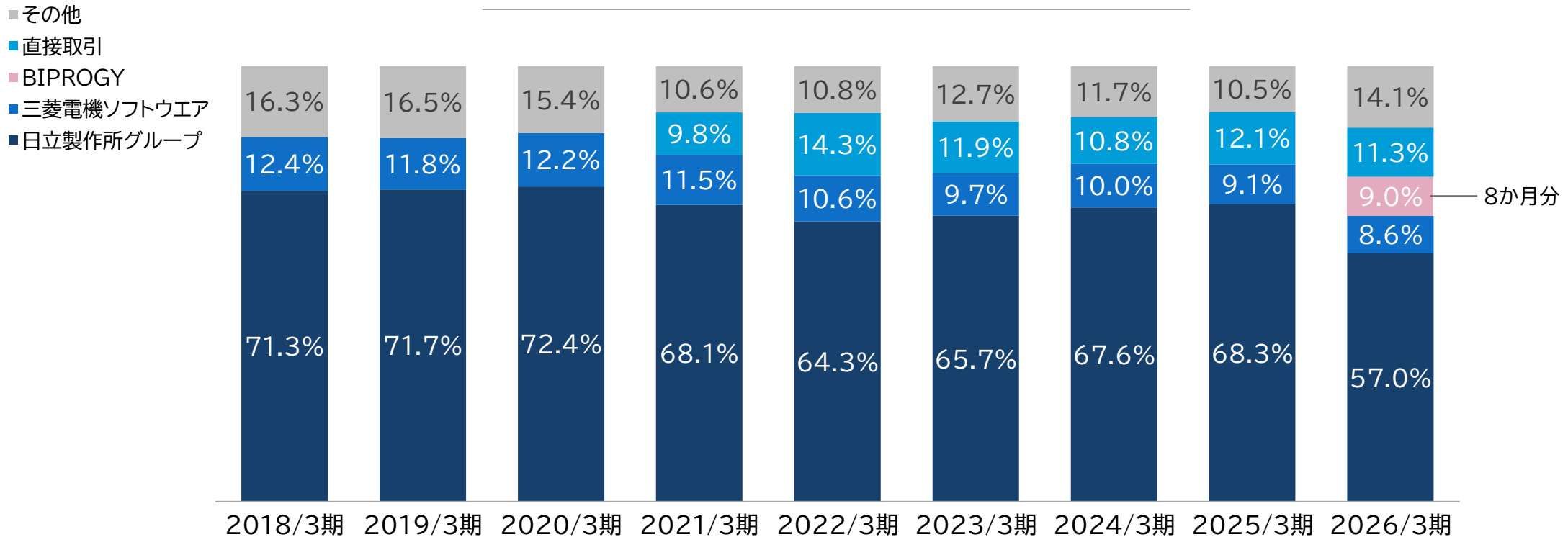
産業流通事業 29.0%



- 流通 / 医薬、自動車関連システム
- 家電マイコンソフト、モータ・ロボット系組込ソフトの受託開発
- 半導体製造装置関連
- 自社パッケージ「臨床検査システム / CLIP®」、「健診システム / MEX-Plus®」の販売、等

- 日本を代表する企業との安定的な取引基盤を長期にわたり有する
- 日立製作所グループ向け売上高はおよそ7割弱で推移していたが、グリーンキャット社をグループに加えたことで6割弱に低下一方、三菱電機グループ向け及びグリーンキャット社連結に伴うBIPROGY向けなどを加えると、売上全体の4分の3以上は大手Sierからの安定的な受注の継続が見込まれる
- エンドユーザーとの直接取引が全社売上に占める割合は1割強。新規取引先開拓とあわせて引続き拡大を図る

顧客別売上高の推移



2. 2026/3期 決算概要

- 主力である銀行分野の大型案件の終了による受注減少が大きかったものの、保険分野の拡大、M&Aにより規模拡大を図った効果もあり、前年同期に比し売上高は12.6%増加。加えて連結範囲拡大や人件費・教育研修費など先行投資の販管費大幅増加があったが、売上総利益、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前年同期を上回り**過去最高の業績を更新した**。

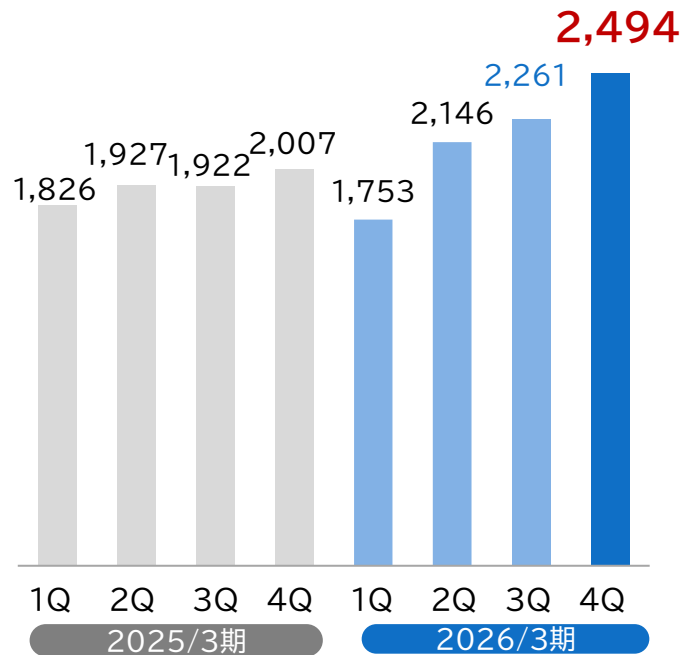
(百万円)	2025/3期	2026/3期				
		累計実績	前期差	前期比	通期見通し	達成率
売上高	7,684	8,655	+971	+12.6%	9,400	92.1%
売上総利益	1,448	1,675	+227	+15.7%	1,825	91.8%
粗利益率	18.9%	19.4%	+0.5pp	-	19.4%	-
販管費	886	1,003	+117	+13.3%	1,105	90.8%
営業利益	562	672	+109	+19.5%	720	93.4%
営業利益率	7.3%	7.8%	+0.4pp	-	7.7%	-
経常利益	611	727	+115	+18.9%	767	94.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	485	599	+114	+23.6%	590	101.7%
EPS	210.6円	258.8円	+48.2円	+22.9%	254.3円	101.8%

※グリーンキャット社(12月決算)のM&Aによる株式取得は5月、2Qから連結業績に含まれ、累計では8か月分が反映されております。

- 今期は連結範囲の拡大もあり、**売上高、売上総利益・営業利益・経常利益とも四半期での過去最高を更新中。**
- 営業利益は、人員増強のための人件費等が一時的に増加した第1四半期から回復し、順調に伸長。

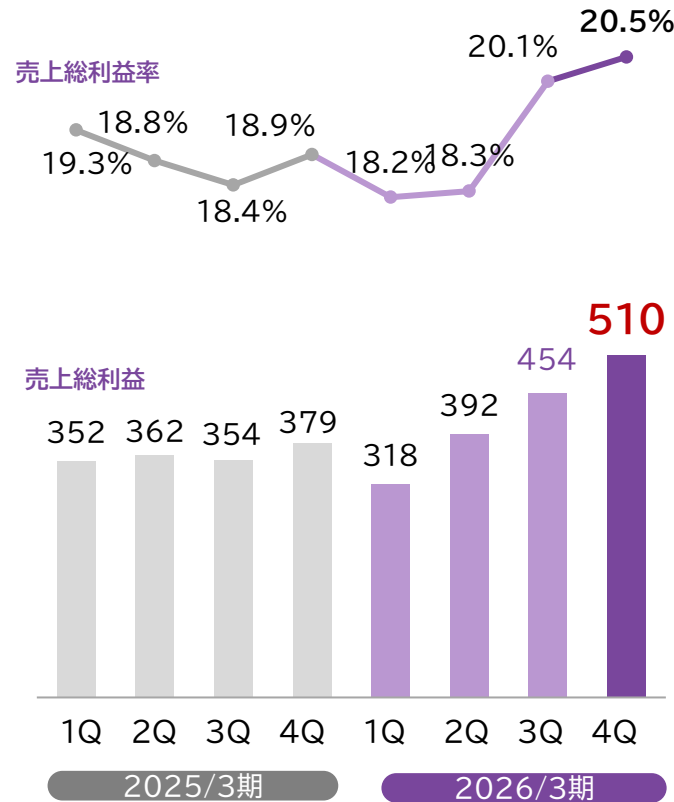
売上高の推移 (百万円)

過去最高の四半期売上



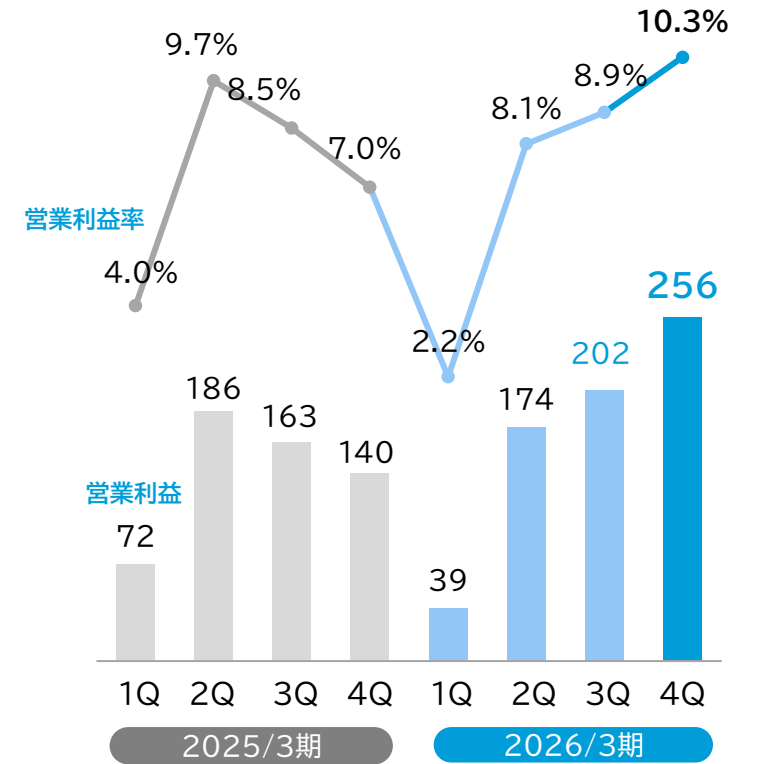
売上総利益及び同利益率の推移 (百万円)

過去最高の売上総利益



営業利益及び同利益率の推移 (百万円)

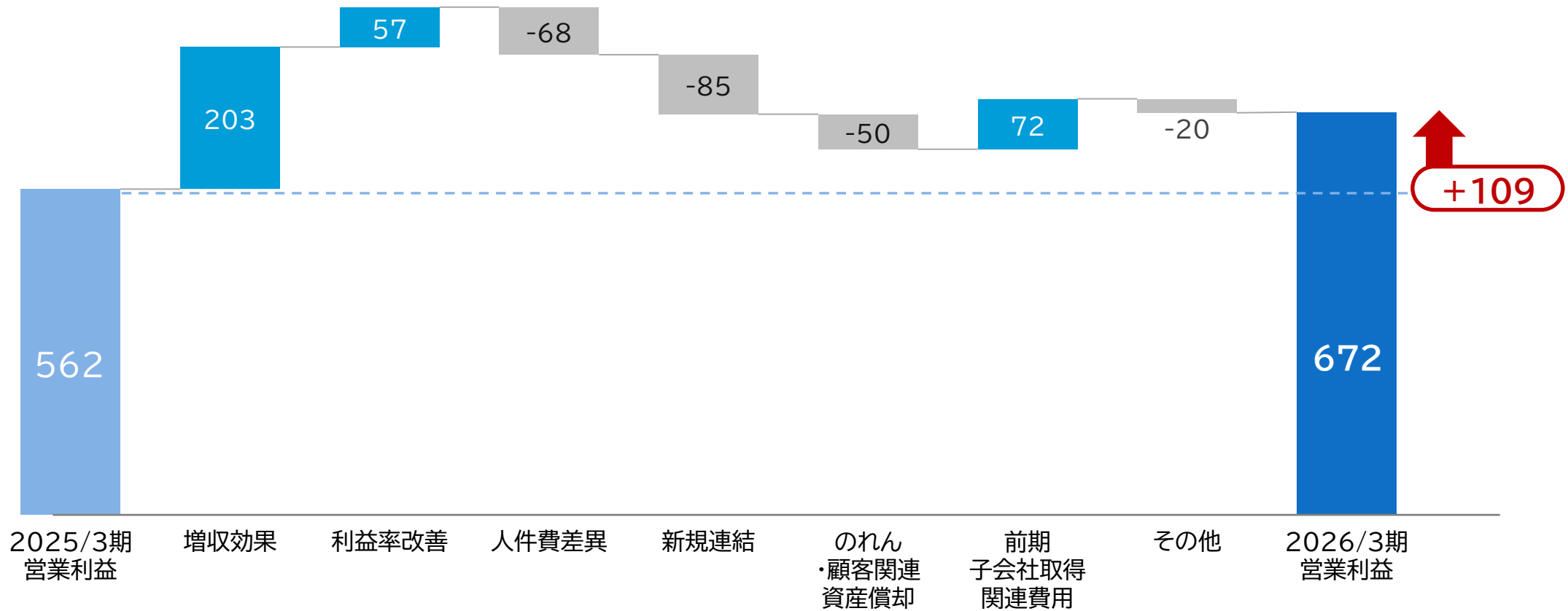
1Qの販管費急増の影響から回復



※グリーンキャット社(12月決算)のM&Aによる株式取得は2025年5月、2Qから連結業績に含まれております。

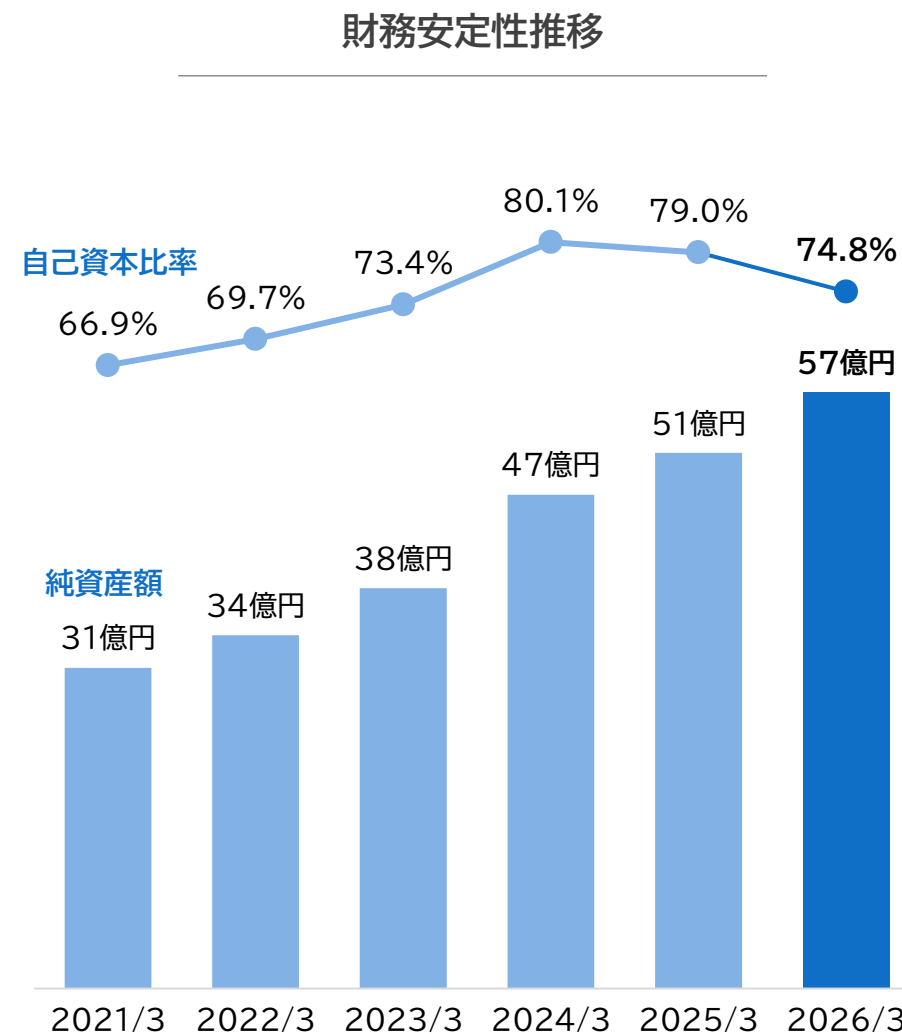
- 売上高、利益とも連結拡大の影響もあり増加。一方で連結に伴う経費増加、新卒採用倍増の継続などの人件費の増加もあったが、これら先行投資による経費増加も吸収し、営業利益は通期で1億円強増加し、過去最高の6.7億円となった

2026/3期累計営業利益 増減要因分析 (百万円)



- 堅調な業績を背景に純資産額は順調に増加、自己資本比率は高水準で盤石な財務基盤を堅持
- M&Aにより手元資金は減少したものの、高い流動性を確保

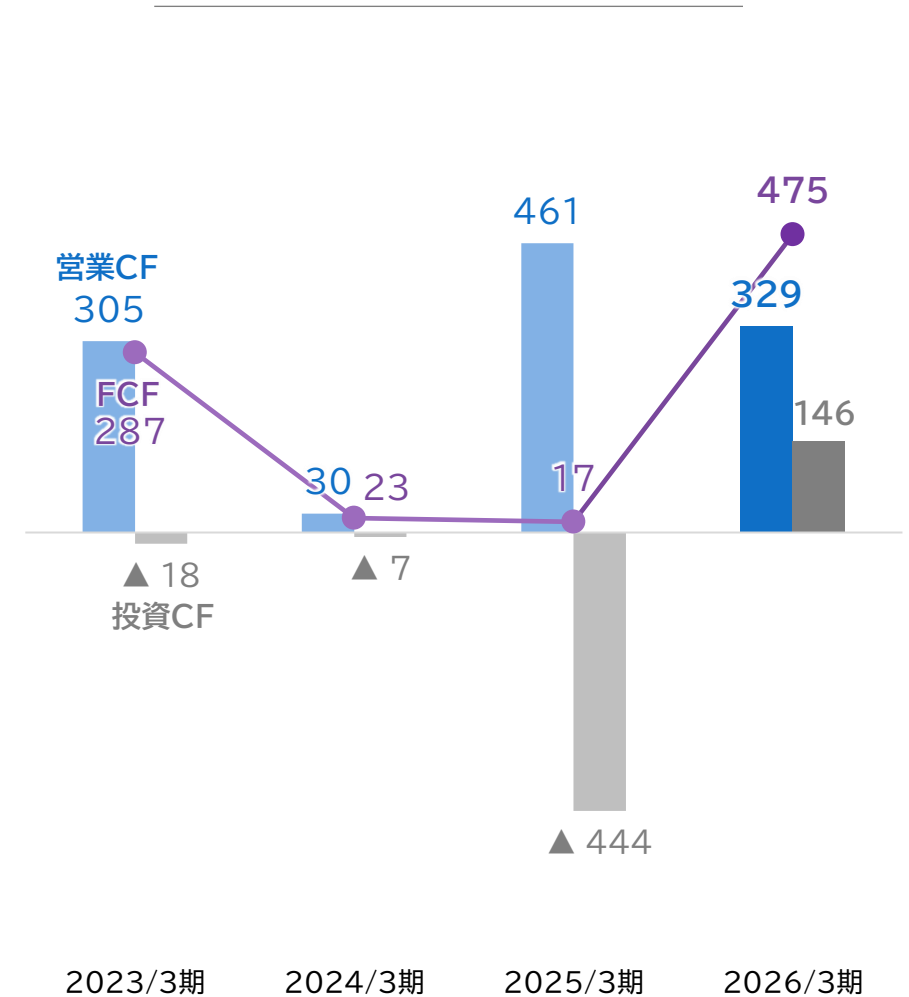
(百万円)	2024/3	2025/3	2026/3	前期末比増減
流動資産	4,121	3,937	3,834	△102
現預金	2,905	2,638	2,291	△346
売掛債権	1,100	1,214	1,426	+211
棚卸資産	21	16	24	+7
固定資産	1,757	2,534	3,785	+1,251
のれん	—	188	615	+426
顧客関連資産	—	143	411	+267
投資有価証券	1,577	2,011	2,505	+493
総資産	5,878	6,471	7,620	+1,148
負債	1,167	1,357	1,921	+564
買入債務	271	268	310	+42
純資産	4,711	5,113	5,698	+584
負債及び純資産	5,878	6,471	7,620	+1,148
自己資本比率	80.1%	79.0%	74.8%	△4.2pp



- 順調に利益を計上し、資金繰りも順調であったため、法人税等の支払増加も吸収し、FCFは大幅増加
- 増配を継続しているがキャッシュフローは十分

(百万円)	2024/3期	2025/3期	2026/3期
営業CF	30	461	329
税前当期利益	632	695	845
減価償却費	14	34	45
債権債務増減	△57	△91	△98
役員退職慰労金	△500	—	—
法人税等支払額	△131	△32	△332
投資CF	△7	△444	146
固定資産取得	△6	△30	△15
定期預金預入・払戻	600	100	598
投資有価証券取得・処分	△600	△101	△168
子会社株式取得	—	△407	△247
FCF	23	17	475
財務CF	92	△184	△271
株式発行収入	231	—	—
配当金支払額	△174	△184	△208
現金及び現金同等物増減額	116	△167	203
現金及び現金同等物残高	2,205	2,038	2,242

キャッシュフローの推移



3. 2027/3期 計画

- 中期経営計画に沿って、25/3期にヒューマン&テクノロジー社を、26/3期にはグリーンキャット社を連結に加えることで、着実に業績は伸長
- 2027年3月期は策定した連結中期経営計画の最終年度であり、AIを活用した案件獲得などで旺盛なシステム投資需要に応え、売上高は前期比で15%増収となる100億円の達成を計画
- 一方で人件費、外注単価などのコスト上昇を想定。将来のための新卒採用、教育・研修費用の増加を見込むも増収効果で吸収し、営業利益(+24%)、経常利益(+24%)、親会社株主に帰属する当期純利益(+20%)はそれぞれ増益を見込む

(百万円)	2026/3期 (実績)	2027/3期 (業績見通し)	増加額	増加率
売上高	8,655	10,000	+1,344	+15.5%
営業利益	672	835	+162	+24.2%
経常利益	727	900	+172	+23.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	599	720	+120	+20.1%
EPS(円)	258.8	309.2	+50.4	+19.5%

現状においては配当金での株主還元を柱と認識

- 2026年3月期は年間100円を計画していたが、**105円に増額**。上場以来3期連続増配とし、配当性向も**40%以上**を実現。
- 今後も業績や財務状況、投資計画の状況を考慮したうえで、連続増配を継続して利益を還元していく方針。
- 2027年3月期は当期純利益20%増益の計画を踏まえ、20円増配を予定。

	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期		2027/3期 (計画)
				当初計画	今回見直し	
一株当たり配当額	50円	70円 (30円)	80円 (40円)	100円 (50円)	105円 (50円)	125円 (60円)
うち、記念配	—	10円 (5円)	—	—	—	—
EPS	239.5円	193.0円	210.6円	254.3円	258.8円	309.2円
配当性向	20.9%	36.3%	38.0%	39.3%	40.6%	40.4%

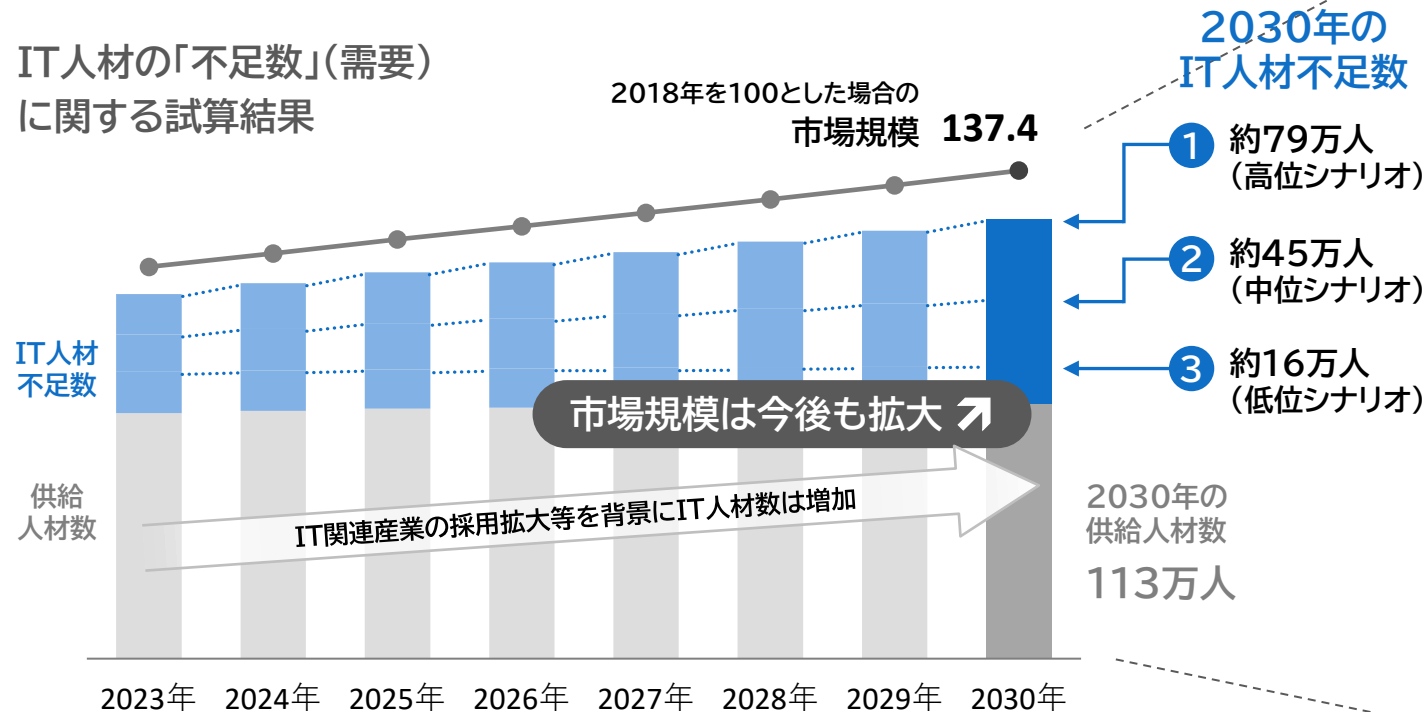
※配当金額の下段括弧は中間配当金額を内書き

4. 中期経営計画(連結)の概要と進捗状況

The OBS Way

~ Creating the future with new value ~

- **2024年～2029年の年間平均成長率(CAGR)は6.4%、2029年の国内IT市場規模は34兆6,954億円と予測(IDC)**
- **2030年に最大約80万人規模のIT人材不足が予測(IDC)**
- **AI等技術進化により、従来型IT人材からAI技術等に対応する先端IT人材への転換が求められており先端IT人材への切り替えが進まない場合、従来型IT人材は余剰が発生し先端IT人材は55万人不足する展望も(METI)**



当社事業を取り巻く事業環境

- 金融、公共、社会分野での開発案件は底堅いが、当社取引先各社ではAI活用等による生産性向上の取組みが加速
→ 日立製作所では2027年ソフト生産性30%向上に取り組み中
- エンドユーザ自身での生成AIやAIエージェント等によりAIアプリケーション利用の加速が予想され、これら開発ニーズへの対応が求められている
- コーディングやテストといったプログラム開発領域から、AIを使いこなす上流設計に対応可能な人材ニーズは高まっている

- これまでの事業基盤を活かしつつ、
- 新たなビジネステーマへの挑戦を行いさらなる成長を実現
→ 技術力を強化し、社会課題解決と自社成長を目指す
- 当社の取引先の多くで社会イノベーションへの取り組みが進んでおり、これらへの参加を通じて持続的社会的な実現へ貢献を図っていく

持続的成長を目指す



社会課題解決への貢献

これまでの事業基盤の
一層の成長

体制の強化
技術力の強化

新たなビジネステーマへの挑戦

株式会社
OBS オービーシステム

社会ニーズを最前線で解決するシステムインテグレーター

日本の社会インフラを支える企業

金融

社会公共

産業流通

2027/3期 連結経営目標

売上成長

100億

利益目標

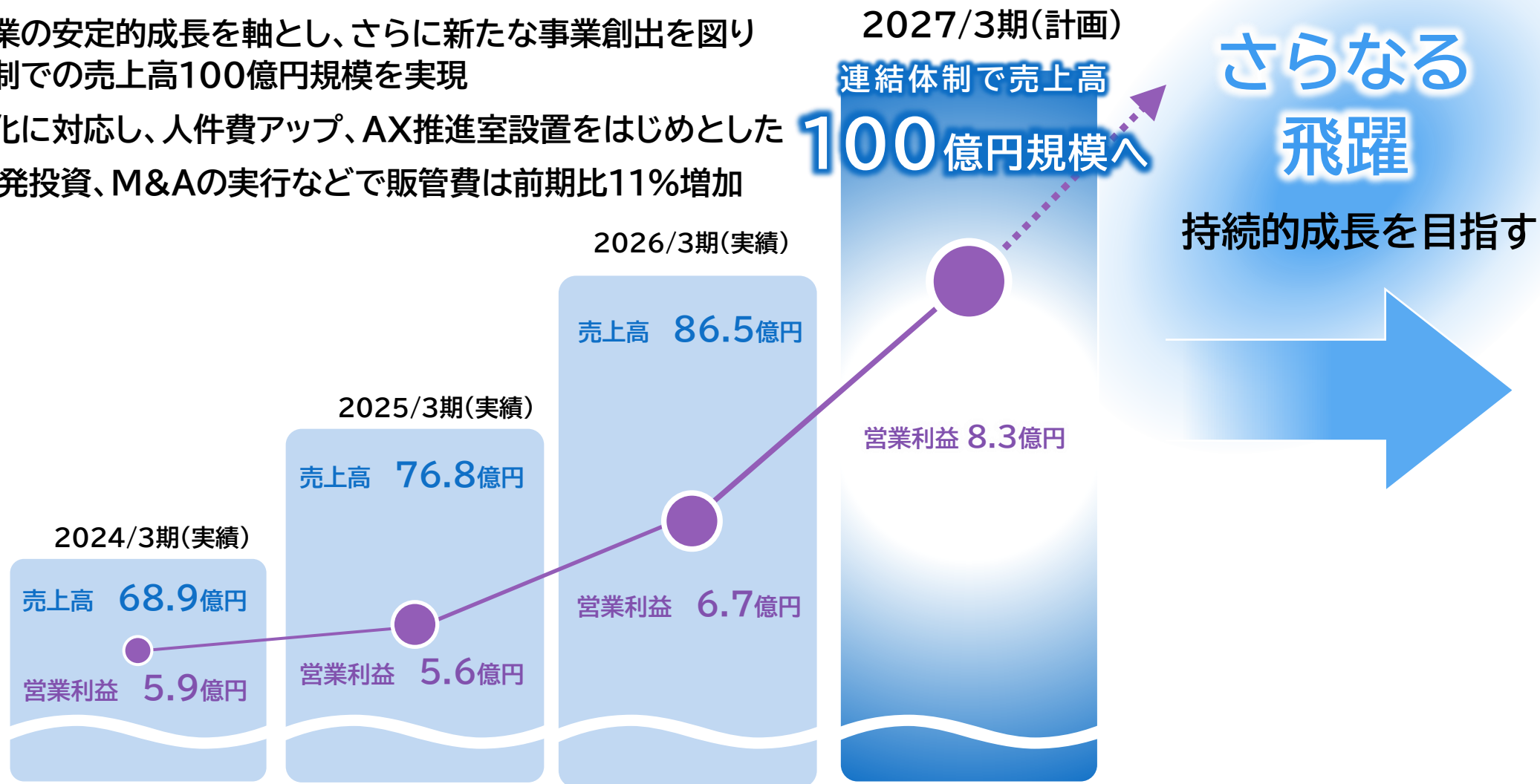
営業利益率10%
(売上総利益率20%)

ROE

13%

連結中期経営計画最終年度の数値計画 (2027/3期)

- 既存事業の安定的成長を軸とし、さらに新たな事業創出を図り連結体制での売上高100億円規模を実現
- 環境変化に対応し、人件費アップ、AX推進室設置をはじめとした研究開発投資、M&Aの実行などで販管費は前期比11%増加



連結中期経営計画期間での数値目標(2025/3期~27/3期)

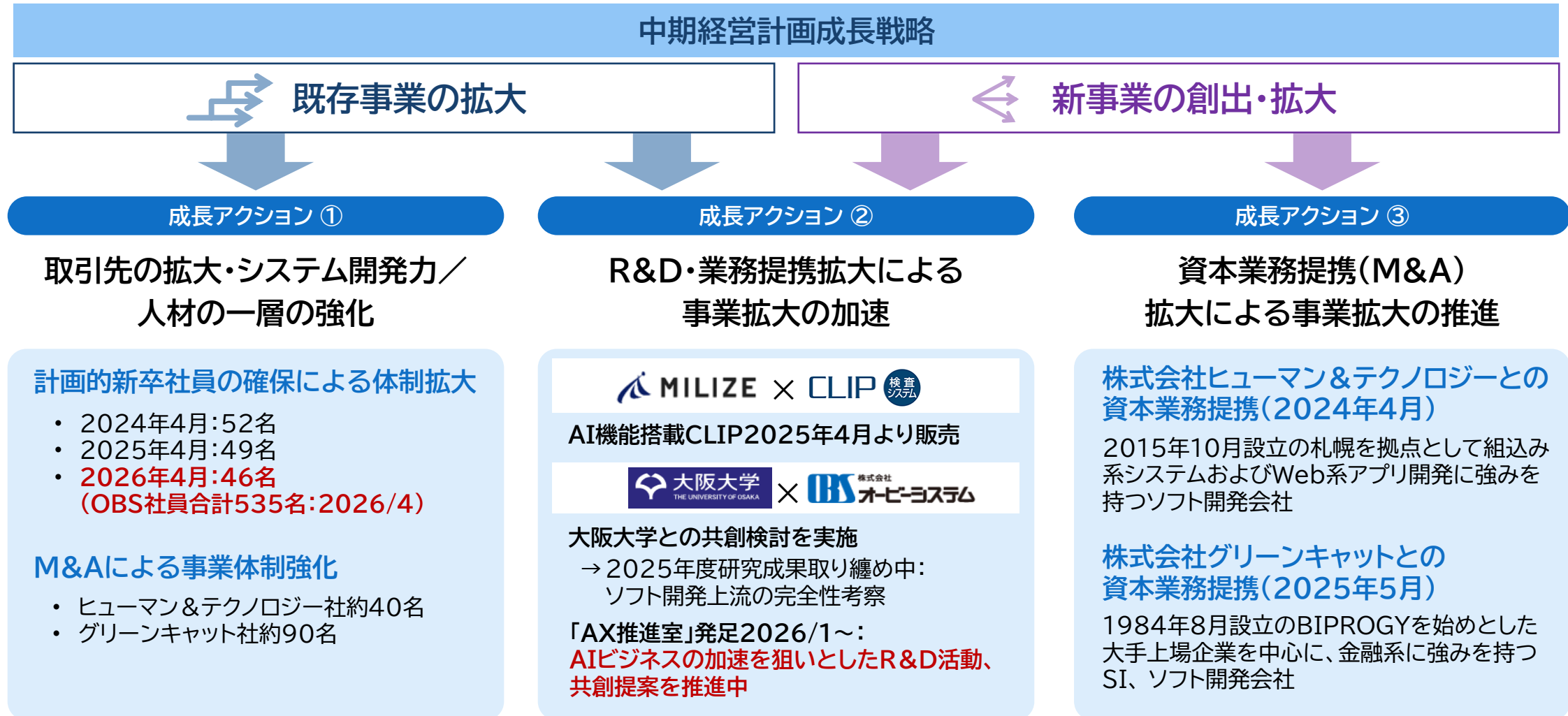
- 24年4月にヒューマン&テクノロジー社、25年5月にグリーンキャット社を子会社化し、中期経営計画達成に向けた体制を整備
- 現中計最終年度での売上高100億円規模の達成を目指す

連結経営開始 →

(億円)	24/3期 (単体)	25/3期 (連結)		26/3期 (連結)			27/3期 (連結)		24/3期・27/3期の比較	
	実績	実績	前期比	見通し	実績	前期比	予想	前期比	額	24/3期比
売上高	68.9	76.8	111%	94.0	86.5	113%	100.0	116%	31.1	145%
営業利益	5.9	5.6	95%	7.2	6.7	120%	8.3	124%	2.4	146%
経常利益	6.3	6.1	97%	7.6	7.2	119%	9.0	124%	2.7	142%
当期純利益	4.4	4.8	110%	5.9	5.9	123%	7.2	120%	2.8	163%

※ 当社は政策保有株式を縮減する方針であり、相場環境を睨みながら継続的な売却を検討しております。

2027/3期 連結売上100億円を目指し中期経営計画を推進中
急速なAIシフトに対応するための追加アクションを推進中



- これまでの取組みの継続を基本に、昨今のAI技術の急激な進化、普及に対応すべくR&D, 取引先との連携を強化し環境変化への対応を進めています。

これまでの取組み成果

成長アクション ①

新卒採用強化による人材ポートフォリオ改善

- ✓ OBS30歳代以下社員が60%、社員平均年齢37.4歳
- ✓ 社員合計535名+ヒューマン&テクノロジー+グリーンキャット+BP体制含めると1000人超の開発体制を実現

成長アクション ②

R&D強化によるAX事業推進体制確立

- ✓ AX推進室の活動強化により、取引先とのAI事業連携の加速
- ✓ 社員AIリテラシーの向上
- ✓ 産学共同PJによる社内スキル底上げ、OBSプレゼンス向上

成長アクション ③

M&Aによる事業拡大の実現

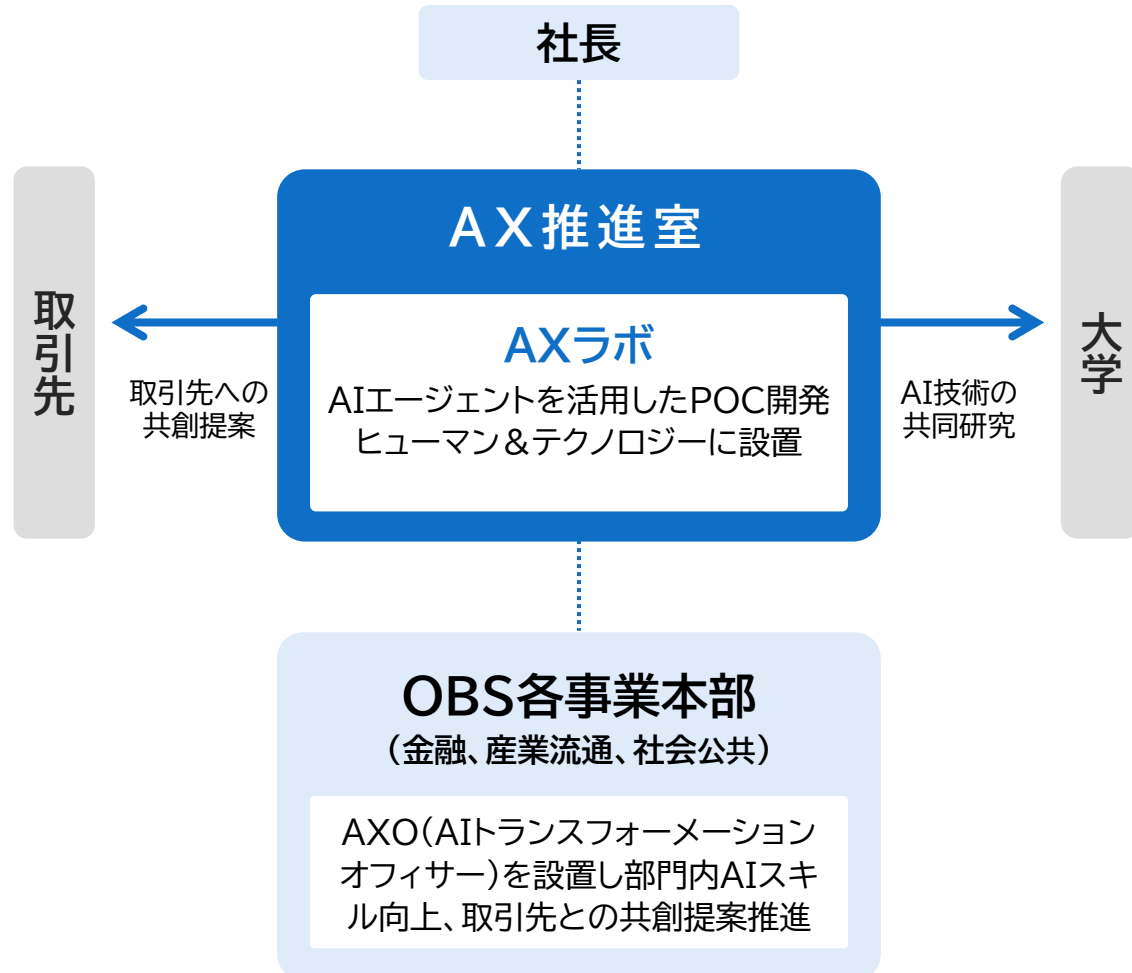
- ✓ M&A推進による取引先の拡大
- ✓ シナジーによるOBS事業の拡大

2027年3月へ向けた取組み施策

- ・ 中計目標の売上100億を達成へ向けたこれまでの取組みの継続
- ・ ITビジネス環境の変化に対応すべく取引先との連携を一層強化
- ・ AI駆動開発の普及に伴う若手社員のスキル高度化への対応を推進
- ・ 取引先のニーズを踏まえたPOC提案により、新たなAIビジネス創出に注力
- ・ 産学共同および提携先とのR&D活動を継続強化し付加価値創出の取組み
- ・ OBSグループとしての連結会社連携を密に行い、シナジーによる事業ボリューム、効率の最大化を推進
- ・ OBSグループの価値最大化を目指した資本業務提携の検討を継続

AI関連技術の進化により市場の環境及び取引先の環境も日々激変しており、現在の中期経営計画の達成を推進しつつ、次の成長へ向けた検討にも取り組んで参ります。

- 2026年1月よりAX推進室を発足し自社R&D活動の強化、取引先とのビジネス共創の活動強化を推進しています。



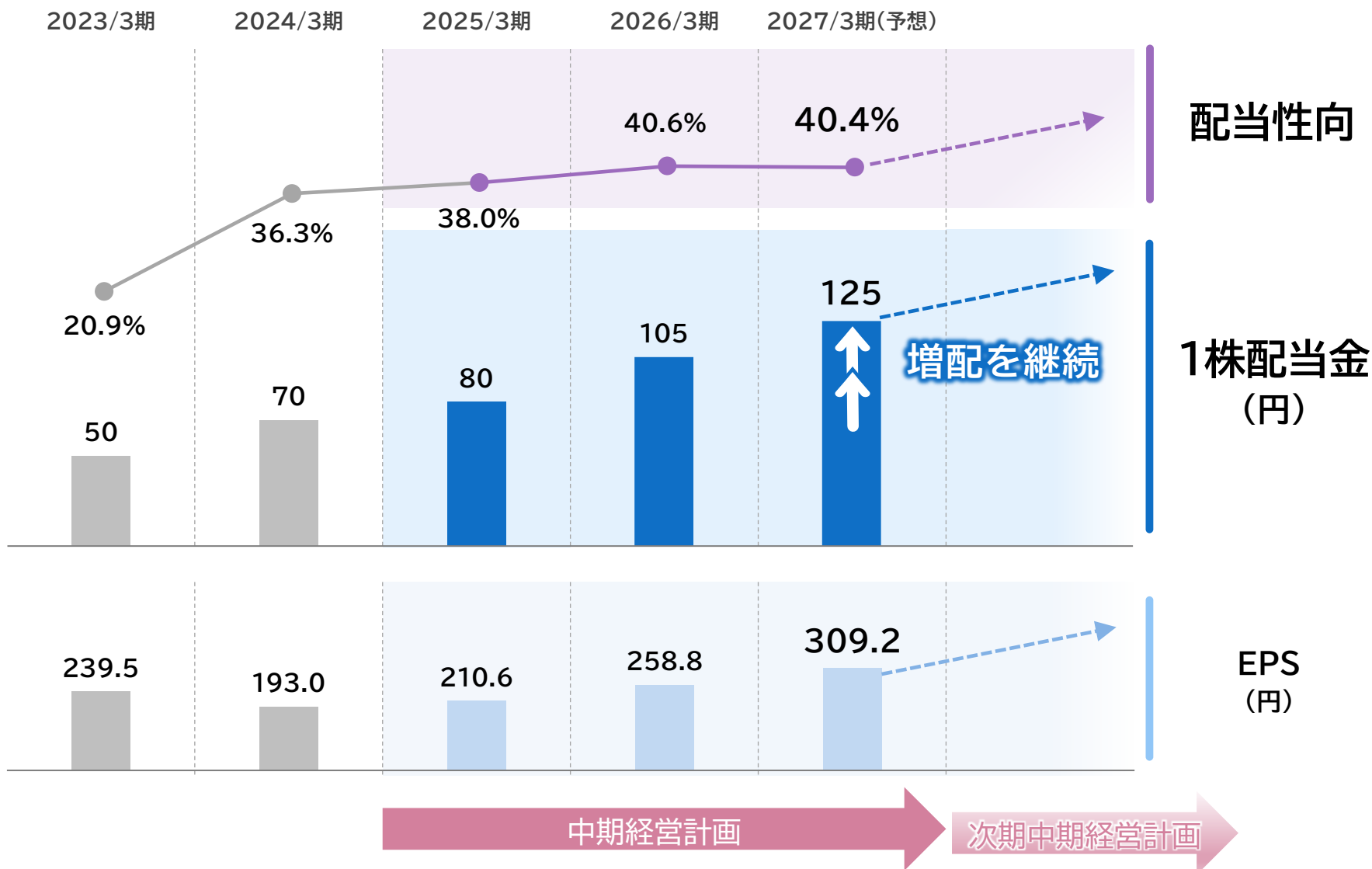
AX推進室取り組み内容

- 1 取引先に対するAIエージェントを活用したPOC(実証実験)提案により新たなビジネス共創推進**
 - 社内業務効率化をテーマとしたAIエージェント開発
→社内業績管理業務効率化、社内規定検索効率化、社外向けFAQ試行等
 - 取引先へ向けた共創提案を推進中
→取引先ごとの付加価値創出テーマを提案(2案件進行中)
- 2 産学協同によるAI共同研究の推進**

ソフトウェア開発上流設計の生成AI活用による十分性評価の研究実施(～2025年3月)
- 3 社内AIリテラシー向上へ向けた教育推進**

AI資格取得に向けた取り組みを強化
2026年4月末時点150名の資格取得(azure、awsの実施するAI資格取得)

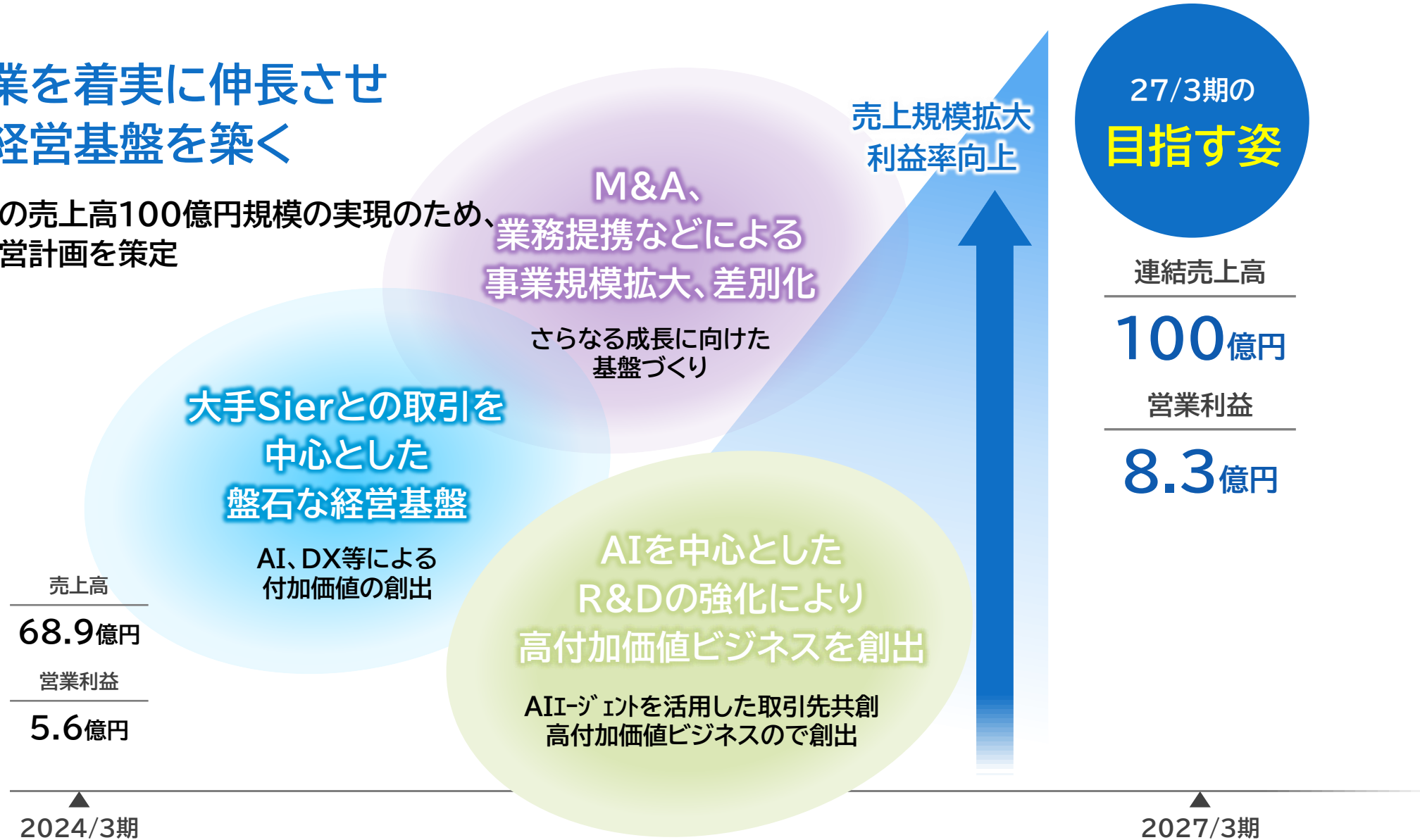
これらの活動を通じ社内のAIリテラシーを高め、
取引先に対し技術面での信頼性を醸成し、
AIを活用した新たなビジネスモデルの創造を進めていきます。



中長期的な視点で
業績や財務状況、
投資計画の状況を考慮し、
配当性向、配当金額を
上げていくことで
利益を還元していく

既存事業を着実に伸長させ 強固な経営基盤を築く

連結体制での売上高100億円規模の実現のため、
連結中期経営計画を策定



THE OBS Way

Creating the future with new values

～ 新たな価値で未来を創る ～

**Purpose
in life**

生きがい

1. 感謝の心

今ある自分に感謝し、
働く喜び、生き甲斐を持つ

**Self-
development**

成長

2. 人格向上の心

仕事を通じて自己啓発し、
人格向上を図ろう

**Peaceful
living**

幸福

3. 生活向上の心

豊かな安定した生活を
目指そう

**Sustainable
society**

持続的成長

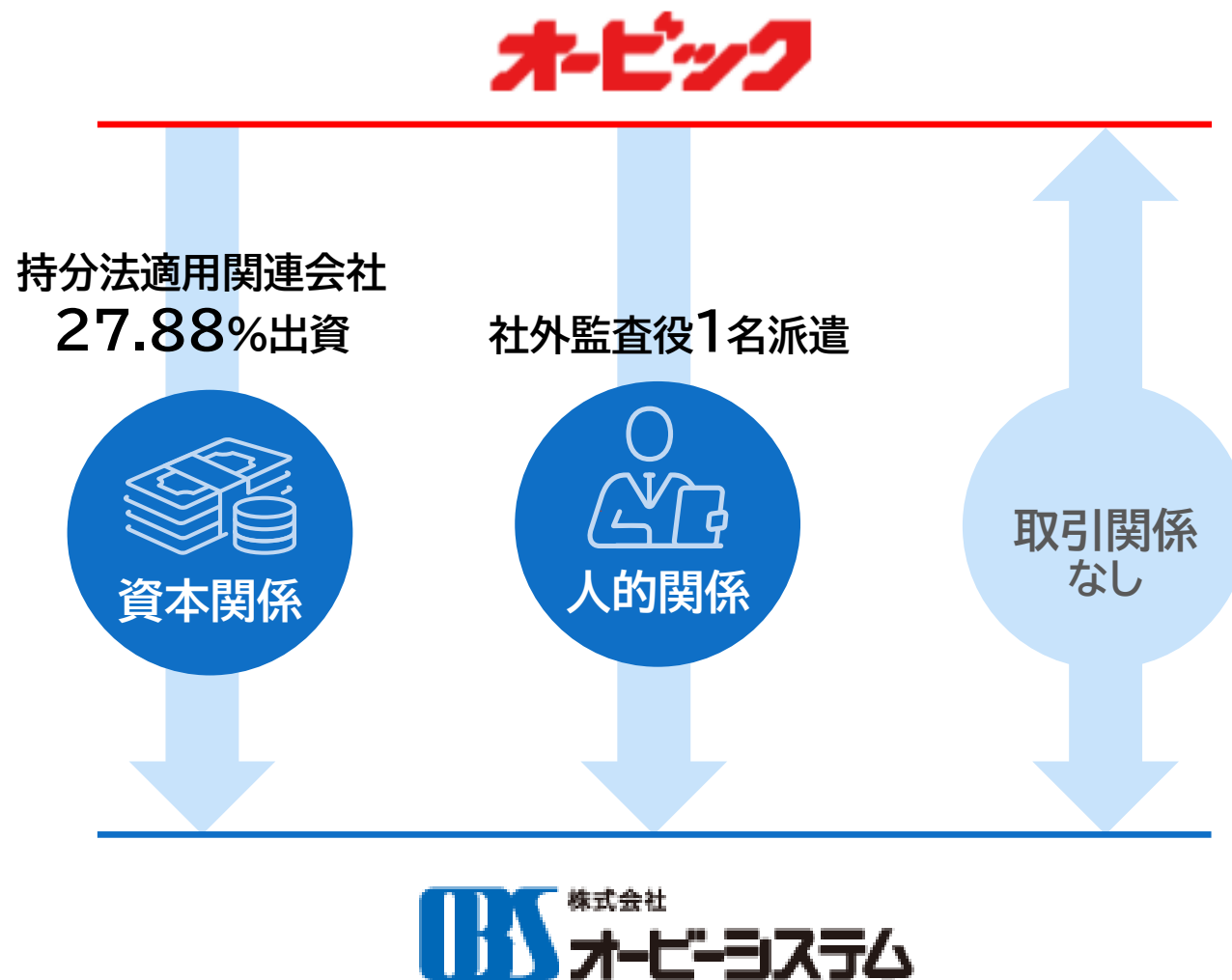
4. 企業の心

デジタル・IT関連などの
情報システム技術、サービスの
提供を通じて持続可能な社会の
実現に貢献しよう









APPENDIX

社名	株式会社オービーシステム	
代表者	代表取締役社長 豊田 利雄	
設立	1972年8月	
本社所在地	大阪府中央区平野町2-3-7 アーバンエース北浜ビル	
資本金	1.9億円(2025年9月末)	
事業内容	システムインテグレーションサービス	
売上規模	86.5億円(2026/3期)	
従業員数	624名(2026年3月末)	
総資産	76.2億円(2026年3月末)	
役員構成	代表取締役社長	豊田 利雄
	取締役	杉田 欣哉
	取締役	上村 忠嗣
	取締役	杉本 繁治
	取締役	長谷川 篤
	社外取締役	白石 徹
	社外取締役	堀野 桂子
	社外監査役(常勤)	渡辺 天山
	社外監査役	阿南 友則
	社外監査役	佐々木 健次
	執行役員	山口 雅也
	執行役員	和田 三紀夫
	執行役員	中平 幹夫
	執行役員	鈴木 信之
主な取引先	日立製作所、日立ソリューションズ BIPROGY、 三菱電機ソフトウェア 他	

株式会社オービックとの関係



中期経営計画の活動を通じて、自社の成長のみならず社会課題の解決へ貢献

テーマ	目指すべきゴール	施策
人材育成	  計画的な人材強化でデジタルによる社会課題への対応を図り、レジリエントな社会の実現に貢献します	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育投資を強化し、人材の確保・育成を実施
気候変動への対応	 温室効果ガス排出量の削減、廃棄物の削減、ペーパーレス化を目指します	<ul style="list-style-type: none"> ● オフィスの温室効果ガス排出量を算定、把握 ● 各種書類の電子化を進め、オンライン会議を推進し、可能な限りペーパーレス化を図る
人権・ダイバーシティ	   事業を支える人材一人ひとりの価値観や個性を認め、多様性を尊重し、男女共同参画の推進等、社員一人ひとりが自分の能力や適性を存分に活かして働ける環境を目指します	<ul style="list-style-type: none"> ● 定年再雇用、キャリア採用の常時実施 ● 在宅勤務 ● 内部通報制度
健康経営	 従業員が心身ともに健康で明るく生き生きと働ける環境の維持向上を目指します	<ul style="list-style-type: none"> ● 仕事と育児の両立支援、女性のキャリア形成支援 ● 健康経営優良法人2026(大規模法人部門)
ビジネスパートナー	 これまでの取引先との連携を深化、新たなパートナー連携の拡大を目指します	<ul style="list-style-type: none"> ● パートナーシップ構築宣言
品質セキュリティ	 社会から持続的に信頼される企業を目指します	<ul style="list-style-type: none"> ● プライバシーマーク(個人情報セキュリティ) ● 情報セキュリティマネジメントシステム ● 品質マネジメントシステム
コーポレートガバナンス	 事業活動を継続的に成長させ、社会から持続的に信頼される企業を目指します	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業経営の公平性・透明性の確保

持続的
事業成長



決算年月		2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月 (連結)	2026年3月 (連結)
売上高	千円	6,069,967	5,992,188	6,163,836	6,896,830	7,684,716	8,655,781
経常利益	千円	403,061	482,609	517,413	632,479	611,333	727,055
当期純利益/ 親会社株主に帰属する純利益	千円	275,877	338,551	497,479	441,579	485,246	599,736
資本金	千円	74,750	74,750	74,750	190,380	190,380	190,380
発行済株式総数	株	111,000	111,000	2,220,000	2,367,000	2,367,000	2,367,000
純資産額	千円	3,062,504	3,371,395	3,829,308	4,711,642	5,113,811	5,698,580
総資産額	千円	4,580,623	4,837,312	5,219,193	5,878,942	6,471,233	7,620,138
1株当たり純資産額	円	1,474.48	1,623.20	1,843.67	2,046.76	2,218.09	2,450.13
1株当たり当期純利益	円	135.05	163.00	239.52	192.99	210.57	258.81
1株当たり配当額	円	800.00	1,000.00	50.00	70.00	80.00	105.00
自己資本比率	%	66.9	69.7	73.4	80.1	79.0	74.8
自己資本利益率	%	9.5	10.5	13.8	10.3	9.9	11.1
配当性向	%	29.6	30.7	20.9	36.3	38.0	40.6
営業キャッシュフロー	千円	316,498	210,723	305,821	30,973	461,992	329,436
投資キャッシュフロー	千円	△345,740	76,346	△18,112	△7,245	△444,892	146,115
財務キャッシュフロー	千円	△33,450	△83,080	△106,850	92,681	△184,130	△271,806
現金及び現金同等物の期末残高	千円	1,704,287	1,908,277	2,089,135	2,205,544	2,038,514	2,242,260
従業員数	名	414	440	443	448	513	624

(注)当社は、2022年11月18日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。2021年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。当社は、2025年3月期より連結決算を開始したため、2024年3月期までは単体決算の数値を、2025年3月期以降は連結決算の数値を記載しております。

< 見通しに関する注意事項 >

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

お問い合わせ先

株式会社オービーシステム 東京
本社IR担当
TEL:03-3471-9877(代表)
E-mail:ir@obs.co.jp